



本編に続く→

第三回 いよいよペン入れっ!



■タブレットドライバの筆圧の調整は重要!

「筆圧感知タブレット」を使わず ComicStudioを使う人はあまりいないと思います。タブレットユーザーの方は、ぜひ「タブレットの筆圧レベル調整」を再チェックしてみてください!

WACOM製のタブレットには「ペン先の感触」の調整項目があります。自分の筆圧に合わせて調整を!

Intuos3の「感触の詳細設定」を開くと「筆圧カーブ」を調整する事により、タッチを変えられます。



標準(赤)だと、なんだか違うと感じた場合は、調整しましょう。

・柔らかい(紫) = 筆圧弱めの人
柔らかいタッチになります。筆圧が弱くても強弱が出ます。

・硬い(緑) = 筆圧強めの人
硬いタッチになります。筆圧を強く描かないと強弱が出せません。

Intuos3ドライバーの場合、アプリケーション毎に細かく設定出来るので、別個に設定するほうが良いでしょう。

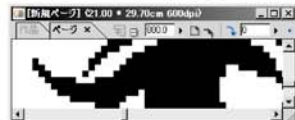
FavoやBambooにも筆圧を調整する項目があります。詳しくは各製品の説明書をご参照下さい。

■「ジャギー」と「アンチエイリアス」

8bit(グレー)・32bit(カラー)で描画する時は「アンチエイリアス」のかかった線を引けますが、通常の描画は1bitまたは2bitなので、「ジャギー」のある線...すなわち「アンチエイリアス」がかかっていない線で描かれます。

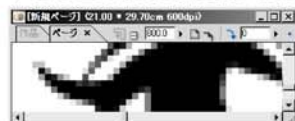
「ジャギー」とは...

画像の輪郭にピクセル単位のギザギザが発生しています。これを「ジャギー」と言います。



「アンチエイリアス」とは...

画像の輪郭に中間色を使う事で縁の色を滑らかに変化させる事を「アンチエイリアス」と言います。



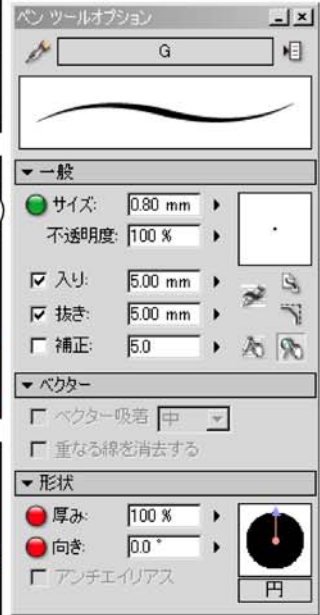
(補足) ベクターレイヤー[黒白(2bit)]は、「アンチエイリアス表示」にする事が出来ます。





■ペンツールオプション

実際に自由に描いてオプションによる違いを確認してください。

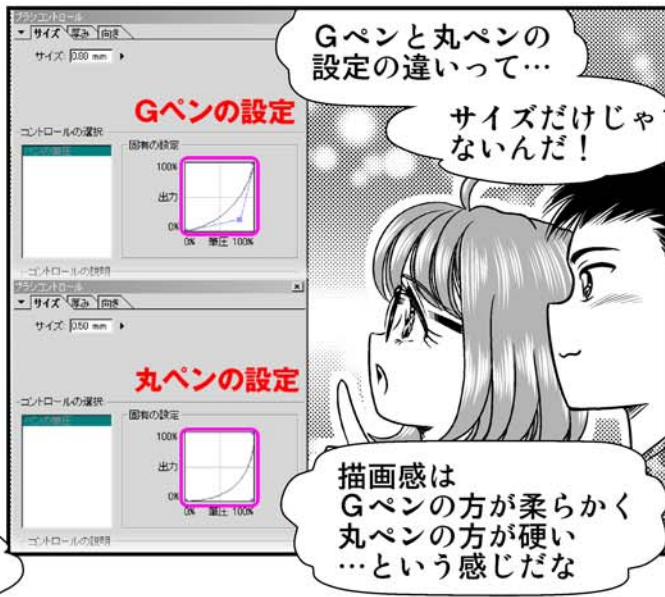
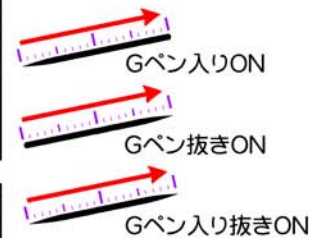


「サイズ」の数値はキーボードショートカットでも可能です。

- [...サイズ -0.1mm]
- [...サイズ +0.1mm]

「入り」「抜き」「補正」のON/OFFもショートカットで可能です。

- 1 ...「入り」ON/OFF
- 2 ...「抜き」ON/OFF
- 3 ...「補正」ON/OFF



補正は「手ぶれ」を補正して線を滑らかにする機能です。あまり数値が大きいと、予期せぬ線になるのでほどほどに...

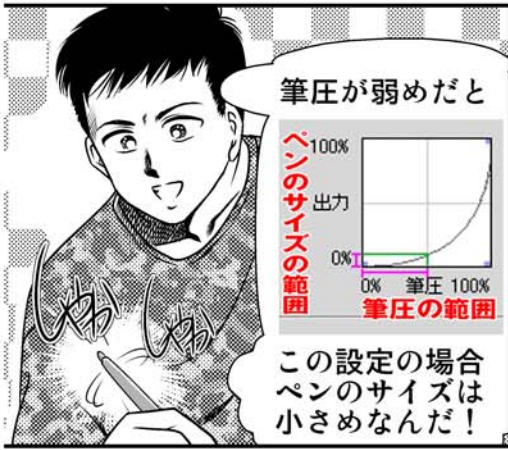
「入り」「抜き」の強さをペンのストローク速度によって変化させます。速いほど強くかかります。

「補正」の強さをペンのストローク速度によって変化させます。速いほど強く補正されます。

設定や表示倍率に関わらず画面上で一定のサイズで描画します。

描画した線の角を鋭角に尖らせます。

表示倍率に応じて補正が変化します。



■「厚み」「向き」の設定効果

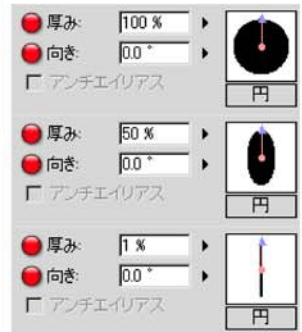
「ブラシコントロール」には「筆圧」の他に「厚み」「向き」の設定項目があります。共にブラシの「形状」に関する設定項目です。

ブラシの形状

基本は「円」「四角」「多角形」です。「厚み」が100%の時、円は真円、四角は正方形になります。「多角形」は3角形から8角形のいずれかに変更されます。



「厚み」を変えると下図のようにブラシ先端の形状が変化します。



通常「厚み」は100%のままで使用します。

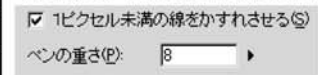
「厚み」の数値を下げてペンで描くとカリグラフィペンの効果も出せます。

左は「厚み」50%に設定した線です。

向きを変えることで、「厚み」の変化の方向を変えられます。「向き」も通常は特に変更する必要はありません。

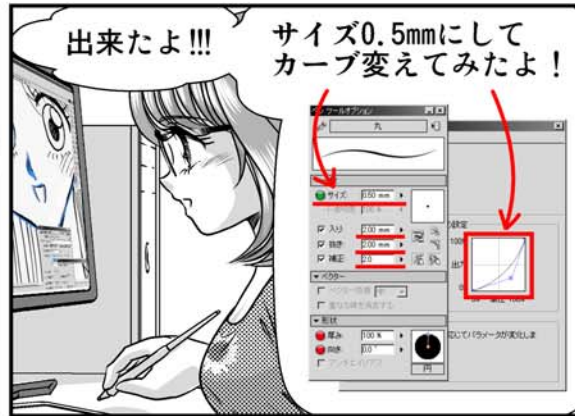
■ペンツールの環境設定

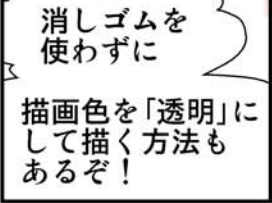
コンテキストメニューからツールの環境設定で「環境設定」が開きます。



「1ピクセル未満の線をかすれさせる」をチェックすると、入り抜き部分や極細線がアナログ風のかすれた線になります。

「ペンの重さ」でタブレットペンの振れを抑制することが出来ます。ペンタブレットの入力データを平均化する時間の長さなので、あまり大きくすると表示までの時間が遅く「重く」なります。ペン先が勝手にぶれて、描画線に反映する場合、数値を少し上げて「重く」とすると改善出来ます。





■「画面の回転」「左右反転」「上下反転」で苦手克服!

紙を自由に動かして描くようにコミスタでも自由に画面を回転させて描くことが出来ます。

また「左右」「上下」を反転させて描くことも出来ます。



一部の機能はショートカットで出来るのでぜひ覚えましょう!

- ・拡大 [Ctrl]+[Space]
ドラッグするとその範囲が拡大表示されます。
クリックで1段階拡大されます。
- ・縮小 [Ctrl]+[Alt]+[Space]
- ・角度回転 [Shift]+[Space]
画面をドラッグすると任意の角度回転できます。
ダブルクリックで通常表示に戻すことが出来ます。

左右反転・上下反転にもショートカットを割り当てると便利です。

■ナビゲータでの操作



ナビゲーターウィンドウでも「表示倍率」の「拡大縮小」と「角度回転」ができます。

- ☒ アイコンをクリックで1段階拡大縮小します。
- 🔄 アイコンをクリックで時計回りにステップ値回転します。

「表示倍率」と「表示角度」のステップ値は「環境設定」の「ページ」⇒「倍率・角度」で設定変更することが出来ます。

